

事業番号	038
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	防災訓練実施事業						担当部	総務部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	危機管理課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	危機管理係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		1 防災		1 防災意識を高めます									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	15		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	災害対策基本法、小牧市地域防災計画														
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	毎年、中学校区の市民、生徒を対象に地震等災害を想定した訓練をすることにより、実際の災害時の対応がスムーズに出来るようにする。														
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 大地震発生を想定し、情報収集、災害対策本部の設置、市民や事業所への伝達・広報、火災に対する消火活動、避難所への避難誘導、被災者の救護活動、道路の交通規制、応急復旧活動など一連の訓練をライフライン等防災関係機関、地元企業の自衛消防隊、各種ボランティア団体、地元中学校区の住民など約70機関、1500名で毎年実施。 H25については小牧西中学校区で開催予定であったが雨天中止。 主な委託内容は機材借上代(テント、イス、机など設営機材)。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 消耗品費・食糧費等(367千円) 保険料(147千円) 機材借上(2,110千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 消耗品費・食糧費等(444千円) 保険料(147千円) 機材借上(2,847千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,124	2,689	2,624	3,438	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	789	789	789	789
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	2,913	3,478	3,413	4,227	
対前年比		%		119.3	98.1	123.8		
財源	一般財源	千円	2,913	3,478	3,413	4,227		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	総合防災訓練実施回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	0	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
総合防災訓練参加者数	人	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	
		実績	1,533	1,547	0		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況		
	平成26年度の改善内容	事業実施における課題	雨天により当日実施は出来なかったが、防災関係団体及び地域住民等への説明会や当日訓練の事前準備等を通じて、防災力及び防災意識の向上が図れた。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	地震等災害を想定した訓練を縮小・廃止した場合、実際の災害時の対応がスムーズにできなくなる。		
		26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	総合防災訓練とは別に、陶小学校区の協議会が主体となって企画・立案し、小学校区単位の防災訓練を行う。 総合防災訓練では、新たに協定を結んだ協定先に訓練に参加してもらうとともに、ライフライン事業者による啓発コーナーの設置、避難所訓練での災害弱者兼用トイレ組立て訓練を実施し、参加機関の訓練内容を実災害に即した内容の一部変更を行う。		
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
	判定理由	訓練を実施することで、市職員と防災関係団体の防災力の向上並びに地域住民の防災意識の向上を図ることができる。			
	27年度以降の改善案	より多くの市民の方に参加していただくため総合防災訓練とは別に、複数区が合同で防災訓練を実施するよう働きかけていく。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 より地域住民の防災意識向上に繋がる防災訓練を研究すること。